

平成 30 年度京都府山岳連盟代表選手選考基準

スポーツクライミング競技

2018 年 2 月 20 日

京都府山岳連盟 競技委員長 戸田 和樹

平成 30 年度の京都府代表選手選考について、国体府代表選手および国内大会への京都府推薦選手、京都府山岳連盟ユース特別強化選手を、次に掲げる基準を以て選考実施する。

なお、京都府代表選手を選考する最終的な権限は京都府山岳連盟が有する。代表選手の選考は当該基準に基づき競技委員会が推薦し、京都府山岳連盟理事会で承認することによって決定する。

<国体京都府代表選手>

I. (公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会・国体山岳競技規程・開催基準要項細則 (資格・選考)

- i. 都道府県大会等に参加し、これを通過した者であること。
- ii. ただし、日体協に定める「国民体育大会予選会免除に関する要領」及び「トップ・アスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」に基づき、予選会への参加が免除となった者については、この限りではない。

「国民体育大会山岳競技開催基準要項細則」による。

II. 京都府山岳連盟の府内選考基準

- i. I の日山協の規定に該当する選手は京都府山岳連盟・代表選手選考に優先的に考慮する。
- ii. 以下の府主催の国体府予選大会および指定大会の成績上位の者から、京都府山岳連盟・代表選手を選考する。
[成年] 京都府予選会 (リト・ボルダリング / 4 月 ※兵庫県合同開催)
[少年] 京都府予選会 (ボルダリング / 4 月) ・近畿ユースクライミングカップ (リト / 6 月)
※開催日程は京都府山岳連盟ウェブサイトにて公示します
- iii. 以上、(i)～(ii)の結果を競技委員会議にて総合的に判断して、京都府山岳連盟の代表選手を選考する。

III. 選考人数

- i. 国体出場選手 (正選手) 各種別 2 名
- ii. 国体補欠選手 各種別 1 名

＜京都府代表選手（京都府推薦選手順位等）＞

JOC ジュニアオリンピックカップ等、出場に地方連盟の推薦が要する大会への京都府内の推薦順位は次の基準に基づき選考する

I. リード競技会への推薦順位選考

- i. 府主催の予選大会および指定大会の成績上位の者から選考し、推薦を行うこととする。

[少年] 近畿ユースクライミングカップ（リード／6月）

※開催日程は京都府山岳連盟ウェブサイトにて公示します

II. ボルダリング競技会への推薦順位選考

- i. 府主催の予選大会および指定大会の成績上位の者から、選考し、推薦を行うこととする。

[少年] 京都府予選会（ボルダリング／4月）

※開催日程は京都府山岳連盟ウェブサイトにて公示します

III. ユース対象の種目別順位選考における注意点

- i. 上記順位選考を行うにあたり、年齢別カテゴリを考慮した順位選考を実施する。
※ユース B 以下の選手が全国大会等に出場機会を得ることを目的に、前年度の推薦者出場数より、ユース B・ユース C 選手を種別ごとに 1 枠以上することを考慮した推薦順位とする。

＜京都府山岳連盟 ユース特別強化選手選考（トライアウト）＞

将来、全国・世界で活躍する選手を、一貫して発掘－育成－強化することを目的に、ユース B 以下の年齢より京都府山岳連盟ユース特別強化選手（育成枠）を選考する。

なお、本選手選考においては現在の競技力のみを考慮するものではない。

I. 選考基準

- i. 府主催大会およびその上位大会、また国内の各競技会へ参加およびその成績
※京都府山岳連盟が主催・主管する競技会および他の国内競技会に出場した選手の中から顕著な競技成績を残した者を優先して選考する
- ii. (i)の成績およびそのパフォーマンスに基づき、競技委員 3 名以上の推薦
※競技委員会へ推薦を行い、承認することによって決定する。

II. 選考人数

各種別 1～3 名とする

なお、いずれの選手についても支援策については別途定め、選考後に対象選手に通知する。